

2019年8月8日

上場会社名 株式会社アルファ

上場取引所 東

コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川名 祥之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 斉藤 雄一

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	15,225	7.9	618	2.2	641	11.8	412	2.6
2019年3月期第1四半期	14,112	3.4	632	25.5	726	24.5	401	41.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 467百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 218百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	43.13	
2019年3月期第1四半期	42.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	56,769	28,466	48.8	2,902.00
2019年3月期	55,392	28,293	49.7	2,881.30

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 27,721百万円 2019年3月期 27,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		25.00	40.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		15.00		25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	4.4	3,150	2.0	3,150	4.3	2,150	0.5	225.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	10,200,000 株	2019年3月期	10,200,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期1Q	647,478 株	2019年3月期	647,478 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	9,552,522 株	2019年3月期1Q	9,552,523 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は152億25百万円と前年同四半期に比べ、11億13百万円（7.9%）の増収となりました。利益につきましては、営業利益は6億18百万円と前年同四半期に比べ、14百万円（△2.2%）の減益となりました。経常利益は6億41百万円と前年同四半期に比べ、85百万円（△11.8%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は4億12百万円と前年同四半期に比べ、10百万円（2.6%）の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、以下の前年同期との比較については、前年同期の数値を変更後の利益又は損失の算定方法により組替えた数値で比較しております。報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましては「2 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）「セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

## 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先の生産台数が減少したこと等により、売上高は22億51百万円と前年同四半期に比べ、5億82百万円（△20.5%）の減収、営業損失は82百万円（前年同四半期は営業利益1億8百万円）となりました。

## 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、新規得意先の売り上げ増加等により、売上高は36億12百万円と前年同四半期に比べ、3億89百万円（12.1%）の増収、営業利益は2億53百万円と前年同四半期に比べ、16百万円（7.1%）の増益となりました。

## 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、中国における生産台数の減少影響等により、売上高は48億9百万円と前年同四半期に比べ、2億16百万円（△4.3%）の減収となりましたが、ASEAN地域での生産台数の増加並びに収益改善等により、営業利益は2億75百万円と前年同四半期に比べ、78百万円（39.6%）の増益となりました。

## 自動車部品事業（欧州）

自動車部品事業（欧州）におきましては、連結子会社の増加等により、売上高は30億71百万円と前年同四半期に比べ、11億82百万円（62.6%）の増収となりましたが、新製品の立ち上がり費用とのれんの償却額が新たに発生したこと等により、営業損失は19百万円（前年同四半期は営業利益8百万円）となりました。

## セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、戸建て向け電気錠に関して、消費税増税前の駆込みによる着工数の増加や電気錠の採用率の上昇により販売が好調に推移し、売上高は22億66百万円と前年同四半期に比べ、1億91百万円（9.2%）の増収、営業利益は3億16百万円と前年同四半期に比べ、82百万円（35.1%）の増益となりました。

## セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、日本向け製品の生産増により、売上高は11億31百万円と前年同四半期に比べ、45百万円（4.1%）の増収、営業利益は92百万円と前年同四半期に比べ、11百万円（14.0%）の増益となりました。

## (2) 連結財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は567億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億77百万円増加となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、10億81百万円増加し、153億19百万円となりました。

流動資産は、その他が8億63百万円増加したこと等により、7億87百万円増加し、307億97百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産のその他（純額）が9億1百万円増加したことや、投資その他の資産のその他が2億83百万円減少したこと等により、5億86百万円増加し、259億50百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が3億86百万円減少したことや、短期借入金が3億65百万円減少したこと等により、2億24百万円減少し、189億10百万円となりました。

固定負債は、その他が10億31百万円増加したことや、社債が2億50百万円増加したこと等により、14億29百万円増加し、93億92百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金が1億55百万円減少しましたが、利益剰余金が1億73百万円増加したことや、為替換算調整勘定が1億79百万円増加したことにより、1億72百万円増加し、284億66百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の49.7%から0.9ポイント減少し、48.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきまして、2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,744	8,252
受取手形及び売掛金	12,641	12,329
商品及び製品	2,295	1,973
仕掛品	873	937
原材料及び貯蔵品	4,360	4,358
その他	2,163	3,026
貸倒引当金	△68	△79
流動資産合計	30,010	30,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,592	4,568
機械装置及び運搬具（純額）	6,362	6,491
工具、器具及び備品（純額）	1,922	2,109
土地	1,562	1,571
その他（純額）	3,117	4,018
有形固定資産合計	17,556	18,759
無形固定資産		
のれん	2,387	2,272
その他	671	659
無形固定資産合計	3,059	2,931
投資その他の資産		
投資有価証券	3,674	3,470
その他	1,073	789
投資その他の資産合計	4,748	4,260
固定資産合計	25,363	25,950
繰延資産	18	21
資産合計	55,392	56,769
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,498	7,111
短期借入金	5,814	5,448
未払法人税等	441	422
賞与引当金	609	261
製品保証引当金	380	362
その他	4,391	5,303
流動負債合計	19,134	18,910
固定負債		
社債	1,095	1,345
長期借入金	5,107	5,254
退職給付に係る負債	168	169
資産除去債務	42	42
その他	1,550	2,581
固定負債合計	7,963	9,392
負債合計	27,098	28,303

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (2019年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	19,519	19,693
自己株式	△578	△578
株主資本合計	24,653	24,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,062	1,907
為替換算調整勘定	807	986
その他の包括利益累計額合計	2,869	2,894
非支配株主持分	770	744
純資産合計	28,293	28,466
負債純資産合計	55,392	56,769

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,112	15,225
売上原価	11,581	12,421
売上総利益	2,530	2,804
販売費及び一般管理費	1,897	2,185
営業利益	632	618
営業外収益		
受取利息	17	17
受取配当金	37	25
不動産賃貸料	9	5
為替差益	30	—
その他	62	35
営業外収益合計	157	83
営業外費用		
支払利息	48	46
支払報酬	4	—
為替差損	—	2
その他	10	11
営業外費用合計	64	60
経常利益	726	641
特別利益		
固定資産売却益	2	4
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	11	6
特別損失合計	11	7
税金等調整前四半期純利益	717	637
法人税、住民税及び事業税	365	224
法人税等調整額	△58	△13
法人税等合計	307	210
四半期純利益	410	426
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	401	412



(四半期連結包括利益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 6 月 30 日)
四半期純利益	410	426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△170	△155
為替換算調整勘定	△458	195
その他の包括利益合計	△628	40
四半期包括利益	△218	467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△211	436
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	30

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（会計方針の変更）

国際財務報告基準（IFRS）を適用する在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において有形固定資産の「その他（純額）」が815百万円、流動負債の「その他」が289百万円、固定負債の「その他」が598百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	2,018	3,200	4,822	1,780	2,066	223	14,112	—	14,112
セグメント間の内部売上高又は振替高	815	22	203	108	8	863	2,022	△2,022	—
計	2,833	3,223	5,026	1,888	2,075	1,086	16,134	△2,022	14,112
セグメント利益又は損失(△)	108	236	197	8	234	81	867	△234	632

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△222百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	1,558	3,559	4,635	2,970	2,261	240	15,225	—	15,225
セグメント間の内部売上高又は振替高	693	53	173	100	5	891	1,918	△1,918	—
計	2,251	3,612	4,809	3,071	2,266	1,131	17,144	△1,918	15,225
セグメント利益又は損失(△)	△82	253	275	△19	316	92	836	△217	618

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来、「自動車部品事業(日本)」及び「セキュリティ機器(日本)」に配分していた当社の本社経費について、当社グループのグローバル化の進展に伴い、グループ全体の経営・管理活動を担うグローバル本社としての役割が増してきたことから、各報告セグメントの業績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しております。